

令和4年度

事業計画

 社会福祉法人 有田市社会福祉協議会

はじめに

コロナ感染症対策については、基本の予防対策を徹底したうえで、いかなる場合にも業務を継続できるように、感染拡大を防ぐための事務所分散化、在宅勤務体制のシステム活用、早期対応のためのデジタル決裁等の継続で、令和4年度も利用者の生活に支障がでないように業務を推進することと、3月に業務継続計画（以下、BCP という。）研修を3回実施して、地震・風水害発生で新たに取組む業務と、通常業務の中で止めることが困難な業務を「非常時優先業務」に特定して、業務遂行に必要なヒト・モノ・情報等の確保と配分の手続きを事前に決めておく計画について学んだことを令和4年度からの有田市社協BCP活動に活かします。

令和3年度に新たに策定した「第3次有田市地域福祉活動計画」（以下、「活動計画」という。）は、その策定プロセスにも多くの住民の方に関わっていただきました。活動計画はまさに、そのプロセスの中で参画者自身が気づきと学びを得る貴重な体験活動になります。そうしてそれぞれが気づいた課題の解決に向け、行動できるように本会としても社協事業を推進してまいります。今後4か年で取組む課題は次の4点となりました。

1. 共助のための担い手不足
2. つながりの希薄化
3. 当事者の課題共有
4. 情報発信

社会が大きく変化している今こそ、基本に立ち返り、社会福祉協議会として一人ひとりの思いに寄り添い、共に課題解決できるよう働きかけてまいります。

重点課題を解決する為に、令和4年度実施22事業を推進してまいります。

令和4年度 実施事業一覧

1.法人運営事業

- ①理事会、評議員会、評議員選任・解任委員会の開催
- ②財政管理
 - 社会福祉協議会会費、共同募金、善意銀行
寄付付き商品事業
- ③会議、研修、諸行事の開催、参画
- ④福祉団体育成支援事業（5団体）
 - 老人クラブ連合会、遺族連合会、身体障がい者連合会
母子寡婦福祉連合会、障害児者父母の会

2.個別相談・支援事業

- ⑤福祉サービス利用援助事業
- ⑥法人後見事業
- ⑦生活福祉金貸付事業
- ⑧心配ごと相談所事業

3.地域福祉推進事業

- ⑨地域福祉ネットワーク会議の企画運営
- ⑩日常生活用具貸与事業
- ⑪ボランティア活動の推進
- ⑫地域共生プラットフォームづくり
- ⑬福祉の種まきプロジェクト
- ⑭災害時対応事業
- ⑮家族介護教室事業
- ⑯認知症等高齢者見守り事業
- ⑰生活支援体制整備事業
- ⑱広報活動事業

4.在宅福祉サービス事業

- ⑲居宅介護支援事業
- ⑳通所介護事業
- ㉑介護予防・日常生活支援総合事業
- ㉒日中一時支援事業

①生活福祉金貸付事業（コロナ特例貸付事業）

申請者→福祉相談室（申請・決定）→社協（面談・書類作成）→民生委員（情報）

【貸付内容】令和2年3月開始

緊急小口資金 20万円

総合支援資金（初回）60万円（単身45万）令和4年6月末日終了予定

（延長）60万円（単身45万）令和3年6月末日終了

（再貸付）60万円（単身45万）令和3年12月末日終了

【貸付状況】

全国 3,570,000件 13,645億円

和歌山県 25,032件 122億円

有田市 721件 3.4億円

9割の方が緊急小口・総合を利用 平均貸付額 117万円

【利用者傾向】

10代から90代まで幅広い年齢層（65歳以上 14%）

飲食業、建設業、運送業（県全体）漁業（有田市）

【償還の開始】

緊急小口・総合（初回） 令和5年1月～

総合支援金（延長） 令和6年1月～

総合支援金（再貸付） 令和7年1月～

【償還の免除】

緊急小口・総合（初回） 令和3年度又は4年度の住民税非課税

総合支援金（延長） 令和5年度の住民税非課税

総合支援金（再貸付） 令和6年度の住民税非課税

資金種類の償還開始年度ごとに、申請に基づいて償還免除の判定を行う。

【令和4年度の活動】

- ・償還免除申請の受付
- ・償還開始後の状況確認と対応
- ・償還免除となる世帯（住民税非課税世帯）は、なお生活に困窮している状況であり、また償還開始となる世帯においても償還金の捻出は生活に重くのしかかる恐れもあることから、これらの世帯に対する丁寧な関わりや生活支援の強化を実施します。

②生活体制支援事業（有田市からの新規委託事業）

【目的】

高齢者の生活支援・介護予防の基盤整備を推進していくことを目的に、地域のみなさんや有田市地域包括支援センターと協力し、地域みんなが気に掛け合い、見守りあい、支え合える地域づくりを推進します。

【活動内容】

- (1) 地域活動などの把握と活性化
- (2) 生活支援ニーズ（困りごと）の把握
- (3) 支援サービスの担い手の発掘と養成
- (4) 困っている人と手伝いたい人をつなぐ役割
解決できる活動の紹介やサービスの調整などの相談を行います。
- (5) 関係者のネットワークづくり
行政・自治会・福祉団体・民生児童委員・老人クラブ・ボランティア企業などのネットワークづくりをすすめます。

③広報活動事業

地域活動総合情報サイト「あるある arida」の新規開設

【目的】

- (1) 有田市で活動する個人・団体の周知と活動啓発のため。
- (2) 企業による地域貢献活動を発信、促進する。
- (3) 有田市民に対する情報発信の集約化を図る。
- (4) 暮らしを豊かにする情報を必要とする市民に届けられるツールとする。
- (5) 当サイトを通じて、登録者間の交流や協働活動を活性化するため。

【提供情報の内容】

- (1) あるある arida 登録者の団体情報や活動報告
- (2) 地域に関わる活動やイベント情報
- (3) ボランティア活動情報
- (4) 防災啓発情報

④在宅福祉サービス事業

【令和3年4月～令和4年1月収支】

	収入	支出	差異
通所介護	42,358	42,482	▲124
居宅介護	10,274	10,261	13
計	52,632	52,743	▲111

【一日平均利用者数】

23.7 人

【令和3年度収支見込】

	収入	支出	差異
通所介護	49,816	54,123	▲4,307
居宅介護	13,183	12,192	991
計	62,999	66,315	▲3,316

【要因】

- ・修繕費（LP ガス貯蔵庫、排煙窓、雨漏り） ▲2,530
- ・通所介護営業停止（コロナ関連4日間） ▲ 800
- ・新規利用活動の停止（職員体制） ▲4,400

【令和4年度計画】

- ・感染予防対策の強化継続
利用者が安全で安心して利用できる在宅福祉サービス事業をめざします。
- ・職員人員体制の充実
介護士（パート）求人募集の継続
- ・担当職員の研修会定期開催
- ・家族の方々に利用情報提供
なごみ通信での情報提供の充実
- ・家族介護教室、認知症サポーター講座の開催（ケアマネジャー）